

マアジ養殖開始のための活魚運搬試験

府内の定置網漁業で漁獲されるマアジの価値をより一層向上させるため、漁獲されたマアジの養殖試験を開始しました。

その第一段階として、定置網に入ったマアジを他の漁獲物と選別し、活かしたまま養殖生簀に運搬する手法を確立する必要があります。

マアジは物理的な刺激に弱く、扱いに気をつけないとストレスが生じて病気にかかる恐れがあります。そこで、地元で定置網を営む漁業者の協力を得て活魚運搬試験を実施しました。早朝、当所の職員が定置網操業に同行し、網内を遊泳しているマアジをタモ網ですくって大型水槽に収容し、養殖生簀まで運搬しました。

養殖生け簀に移されたマアジは落ち着いた様子で泳ぎ始め、これから養殖するのに十分健康な状態で運搬が完了しました。

今回の試験結果をもとに漁具の改良や課題の整理を行いながら、より最適な運搬手法の確立を目指します。



船で運搬してきたマアジを生け簀に移す



生け簀内を泳ぐマアジ